

## 微電影レーベル「37.1°」本格始動

微電影（ビデンエイ）とは、  
中国語で「インターネットから発信される映画」のこと。

映画をつくるのも、みてもらうのも、昔より格段に手軽になった時代。

世界ではすでに多くの微電影がインターネット上で無料公開され、  
たくさんの新しい作品、表現、才能が発見されています。

「37.1°（ナナドイチブ）」は、  
日本で初めての微電影レーベル。

監督や俳優女優、あるいはミュージシャン、漫画家、企業、などなど  
いままで「映画」に関与してこなかった人々をも巻き込んで、  
自由な発想から生まれる「新しい映画＝微電影」を試作していきます。

スマートフォンで見ることを前提とした映画って？  
ソーシャル上で展開していく映画って？  
ノンバーバルな、世界中の人が共感できる映画って？  
登場人物が直接話しかけてくる映画って？  
見るタイミングで変化する映画って？

大規模な映画ではできないこと。インターネットだからこそ、できること。  
新しい時代の映画の可能性を、ここから発明していきます。

参加者、募集！

鈴木健太

栗林和明

直井卓俊

37.1°

videnei.com

■鈴木健太

1996年生まれ。KIRINJI、SHISHAMOのミュージックビデオや、ネットレーベル・Maltine Records、YouTuber・アバンティーズ、映画祭・MOOSIC LABなどのクリエイティブ・ディレクションを手がける。2005年から2015年まで「KIKIFILM」名義で自身の短編映画を松本花奈監督らとネットに公開、「37.1°」を発案。

■栗林和明(CHOCOLATE Inc.)

1987年生まれ。10万本を超える映像の分析を基にして、番組や空間、商品、レーベル、ボードゲームなどを企画。JAAAクリエイターオブザイヤー最年少メダリスト。米誌Ad Age「40 under 40（世界で活躍する40歳以下の40人）」で、アジアから唯一の選出。

■直井卓俊（SPOTTED PRODUCTIONS）

映画の企画・配給を手がける SPOTTED PRODUCTIONS代表取締役。MOOSIC LABのほか、2020年は齊藤工監督最新作「COMPLY+-ANCE」（2.21公開）、渡辺あやが手がけたNHKドラマの劇場版となる「ワンダーウォール」（4月公開）、高校演劇が原作の「アルプススタンドのはしの方」（6月公開）などが控える。